

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) エフピコアルライト株式会社		住所 〒 714-0062 岡山県笠岡市茂平2918-46	
本票作成	部署名 : 支援部マネジメントシステム課			
主たる業種	分類コード	18	業種名 : プラスチック製品製造業	
事業の概要	事業内容 : フィルム事業・段ボール事業 工場数 : 3工場 (本社工場・ダンボール工場・関東工場) 従業員数 : 119名			
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地	
	①	本社工場	笠岡市茂平2918-46	
	②	ダンボール工場	笠岡市茂平2918-12	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)			
温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和9年度)	
	3,056 t CO ₂	3,276 t CO ₂	2,561 t CO ₂	
	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量	
	①	本社工場	1,798 t CO ₂	
	②	ダンボール工場	1,478 t CO ₂	
			t CO ₂	
			t CO ₂	
			t CO ₂	
			t CO ₂	
			t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間 : 令和6年度～令和9年度 (4箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 5.0 %	16.0 %	
<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input checked="" type="checkbox"/> 未達			
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 省エネ法に基づく寄与率計算で算出 (①では段ボール製品の生産面積 (万m ²) を、②ではプラスチックフィルムの生産重量 (千t) を原単位とし、その寄与率を計算したもの)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		100.000 t CO ₂ /(%)	105.000 t CO ₂ /(%)	84.000 t CO ₂ /(%)
		(該当事業者のみ記入)		
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等
【削減状況の自己評価】				
温室効果ガスの排出量は増加しており、現状では目標を達成できていません。主な原因として、電力会社の排出係数が基準年を大きく上回ったことが挙げられます (0.00036 t-CO ₂ /kWh → 0.000419 t-CO ₂ /kWh)。また、ダンボール工場の増床工事に伴う生産効率の低下や、ユーティリティ強化によるエネルギー消費の増加も影響しています。一方で、ボイラーの燃料をA重油から都市ガスへ転換したことで、大幅なCO ₂ 削減を達成しました。しかし、総合的には排出量が増加する結果となっています。今後は、エネルギー管理委員会を中心に、省エネルギー施策をさらに推進し、CO ₂ 削減に向けた取り組みを継続してまいります。				

【推進体制】

【ISO14001に基づき社長をトップとした環境推進体制を整備】

推進体制…環境推進委員会（4回/年）、マネジメントレビュー（2回/年）

【省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備】

推進体制…エネルギー管理委員会（4回/年）

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	(令和6年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・エリア毎の空調設定の見直し (CO2削減量 : 1.5 t /年) ・集塵機の送風機インバータ制御の見直し (CO2削減量 : 3.3 t /年)
ダンボール工場	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーの燃料転換（A重油→都市ガス） (CO2削減量 : 284 t /年) ・高効率変圧器の導入（アモルファス） (CO2削減量 : 2.3 t /年) ・コルゲート機（ウェット）の更新 (CO2削減量 : 20.44 t /年) ・400V配電への切り替え (CO2削減量 : 3 t /年) ・エア漏れ箇所修理による空気圧縮機動力低減での省エネ (CO2削減量 : 0.3 t /年)
本社工場	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・自家消費型太陽光発電設備の設置（出力 : 200KW程度） (CO2削減量 : 147 t /年) ・冷却水二次ポンプ搬送動力低減での省エネ (CO2削減量 : 23.4 t /年)
ダンボール工場	<ul style="list-style-type: none"> ・自家消費型太陽光発電設備の設置（出力 : 400KW程度） (CO2削減量 : 211 t /年) ・変圧器の運転台数の削減（解列） (CO2削減量 : 1.8 t /年) ・コルゲータラインの未保温箇所への保温取付による省エネ (CO2削減量 : 74.6 t /年) ・コルゲータラインエンクロージャー最適設置による空調負荷削減での省エネ (CO2削減量 : 5.5 t /年) ・空気圧縮機圧力低減による省エネ (CO2削減量 : 1.7 t /年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	有	自家消費型太陽光発電設備の導入（今後実施予定分） (場所 : 本社工場屋上 規模 : 出力200KW程度 設置予定期 : 2026年4月稼働予定) (場所 : ダンボール工場屋上 規模 : 出力400KW程度 設置予定期 : 2026年4月稼働予定)
その他	無	

【その他特記事項】

- ・家庭の電力量を削減した社員を表彰
- ・各種省エネルギーセミナー、カーボンニュートラルセミナーへの参加
- ・関西電力による省エネウォータースルー調査の実施